



学 校 だ よ り

2 月 号

都 筑

令和 4 年 1 月 3 1 日
横浜市立都筑小学校
校長 井上 由美子

学校 H P <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsuzuki/>

「学ぼう つながろう やりとげる 都筑の子」

「心を見つめて～自分の好きなこと」

副校長 谷口 佐智子

朝方、自宅付近は曇り空で今にも雨が降りそうでしたが、学校へ向かうにつれ天気が好転し、晴れ間が見られるようになりました。私は寒さが苦手なので、晴れて暖かい陽だまりを見つけると、嬉しい気持ちになります。

昨年2月の学校だより文頭にも『新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言』が発出され・・・』という記載がありました。今年も「まん延防止等重点措置」が発出されたため、引き続き子ども達の心のケアを優先しながら、密を防ぐ対策、安心・安全な生活への取組を行っていくこととなりました。未だ世界は暗雲立ち込めていますが、必ず晴れ間が見られることと信じています。

さて、このようにコロナ禍の対応が続いていくと、教室からの歌声や子ども達の歓声が聞こえてくるのが少なくなってきました。皆で表現する「見える」活動は制限されることが多いですが、この2年間余りで私達の暮らし方や価値観が変化し、「見える」ベクトルが内に向き「見えない」ものを見つめ直す傾向が見られ、そこに価値を見出せるようになってきたように感じます。

自分の内面を思い返した時、小学生の時期に好きだったものが今の好みにつながっていると思いました。私は小さいころから音楽が大好きで、学校でもらった歌集を初めのページから終わりまで歌い続けたり、好きな楽器で満足するまで演奏を楽しんだりしていました。さらに友達とのセッションに興じて、どんな曲でもハモって歌ったり、それぞれの楽器で合奏を楽しんだりしていました。コロナ禍でできないことも多いですが、今こそ「心に音楽を」と思い直しています。

『おうち時間』を楽しむようになり、自分の好きなこと、リラックスする時間の過ごし方を意識するようになりました。人はどうしてもネガティブ思考に物事を考えてしまいがちですが、物事は見方、考え方次第でプラスにもマイナスにもなるのかもしれませんが、この時期だからこそ自分の内面に向き合い、心を見つめて「自分の好きなこと」を大切に育てていきたいです。そして、子ども達にも「自分の好きなこと」「得意なこと」を見つけて、自分自身を大切に育てていくことを伝えていきたいと思います。

今日、心の中に流れてきた曲を紹介します。皆様への応援歌になりますように。

『あるいていこう』 きくちよしひろ 作詞・小宮路敏 作曲

あるいてゆこう どこまでも くるしくても かなしくても はるがくればはなもさく
ことりもさえずる だいぢじゃないか あるいてゆこう あるいてゆこう